令 和 ４ 年 今 金 町 総 務 産 業 常 任 委 員 会

令和４年１２月２日（金）

○議事日程

１．委員長あいさつ

２．各課説明事項について

（１）産業グループ

① 農林振興課

② 国営農地再編推進室

③ 農業委員会

④ くらし安心課

⑤ 未来創生推進室

⑥ 公営施設課

⑦ 教育委員会

（２）その他

３．委員会調査報告（案）について

４．その他

○出席委員（１１名）

委員長	３番	山 崎 仁 君	副委員長	１０番	村 上 忠 弘 君
	１番	川 上 絹 子 君		２番	向 井 孝 一 君
	４番	小 川 ひとみ 君		５番	日 置 紳 一 君
	６番	内ヶ島 祐 一 君		７番	上 村 忠 君
	８番	岸 徹 也 君		９番	徳 田 栄 邦 君
	１１番	芳 賀 芳 夫 君	（議 長		村 瀬 廣 君）

○欠席委員（０名）

○出席説明員

副 町 長	中 島 光 弘	君
今金消防署次長	小 野 尚 孝	君
くらし安心課長	山 田 薫	君
農林振興課長兼国営農地再編推進室長	川 平 秀 明	君
農林振興課長補佐	中 里 英 明	君
農林振興課主幹	相 馬 透	君

国営農地再編推進室次長	白山	晋君
農業委員会事務局長	諸戸	康浩君
公営施設課長	由浅	和正君
公営施設課長補佐	古谷	哲男君
未来創生推進室長	田中	崇君
教育長	中山	秀悦君
教育委員会事務局長兼総合体育館長兼給食センター長	住吉	淳君
教育委員会事務局次長	早坂	靖君

○出席事務局職員

議会事務局長　兼監査委員書記長	伊藤	靖徳君
議会事務局主事	五十嵐	陽基君

開会　午前９時００分

◎委員長あいさつ

○委員長（山崎　仁君）　皆さんおはようございます。

総務産業常任委員会１２月定例会に向けての２日目であります。

本日は、産業グループから説明、報告をいただくようになっております。最後まで、どうぞよろしくお願いをいたします。

◎開会の宣告

○委員長（山崎　仁君）　ただいまの出席委員は１１名で、定足数に達しておりますので、総務産業常任委員会を開会いたします。

◎各課説明事項について

○委員長（山崎　仁君）　これより、産業グループ、各課説明事項についてを議題といたします。

始めに、農林振興課より説明願います。

農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　（農林振興課長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　農林振興課長補佐、中里君。

○農林振興課長補佐（中里英明君）　（農林振興課長補佐朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。

内ケ島君。

○６番（内ケ島祐一君）　５ページですけれども、種子馬鈴薯作付戸数２０戸、それと６ページの３番、これ対象戸数が２５戸になっているんですけれども、この違いって何ですか。

○委員長（山崎　仁君）　農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　申しわけございません。ただいまのことにつきまして、いま調べて報告いたしますので少々時間をください。よろしくお願いします。

○委員長（山崎　仁君）　ほか、農林振興課質疑があればお受けをいたします。

向井君。

○２番（向井孝一君）　９ページの有害鳥獣駆除の状況ですが、３年度に比べて極端に数字が低いというのは、これは自分も今年も熊は目撃しておりますし、そういう状況も考えると､決して減っているという現況ではないというふうに思うんですが、どういう要因でこういう数字になったのかお聞かせいただきたいと思います。

○委員長（山崎　仁君）　農林振興課長補佐、中里君。

○農林振興課長補佐（中里英明君）　向井委員のご質問にお答えいたします。

熊の出没の件数につきましては、昨年度と比べまして決して減っているという状況ではないと私どもも思っております。

ただ、ハンターの方々が出動いたしましても、必ずしもその出動したところですぐ捕獲できる状態にあるかどうかということもございますので、それにつきましては、昨年につきましては、我々の方といたしましても、出動した際にすぐ捕獲できるような状況にあったということで認識しておりますが、今年に関しましては、通報等によりましてハンターの方が行きましても、その場にヒグマの姿がないという状況も多々ありましたので、それによりまして、捕獲頭数については大幅に減っているのではないかなと推測しております。

○委員長（山崎　仁君）　向井君。

○２番（向井孝一君）　全道的には、非常にヒグマ、それからエゾシカの農産物の被害が、前年対比４億以上増えているという報道がなされておりますけれども、現況の中で、今金町の農産物の被害というのはどの程度把握しているのか。

○委員長（山崎　仁君）　農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　作物の被害状況につきましては、昨年度から議会での指摘がありましたので、作物の被害状況調査を行っております。今年のものに関しましては、いまちょうどやっている最中なので出ておりませんけれども、昨年のものにつきましては結果が出ておりますので、いま資料が出次第、少々時間をいただければ報告できると思います。

○委員長（山崎　仁君）　ほか、農林振興課質疑ありませんか

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　暫時休憩いたします。

休憩　午前　９時１４分

再開　午前　９時３０分

○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り、開議いたします。

先ほど内ケ島委員からの質疑に対する答弁を留保しておりました。理事者より説明をいただきたいと思います。

農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　先ほど種馬鈴薯の件数につきましてでありましたが、６ページの方の補助関係の申請状況２５件が誤りであり２０件でありました。これは当初２５件という予定で事業申請していたところですが、実績としては２０件ということになってございますので、２０件の方で訂正していただきたいと思います。大変申しわけありませんでした。

○委員長（山崎　仁君）　よろしいですか。

内ケ島委員。

○６番（内ケ島祐一君）　２０戸にしたら、この事業費も変わってくるわけでしょう。

○農林振興課長（川平秀明君）　事業費は変わっていないです。

○６番（内ケ島祐一君）　２０戸でこの金額でいいですか。わかりました。

○委員長（山崎　仁君）　ほかありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　向井委員からの有害鳥獣の被害状況についてでありますが、答弁を留保して先に進みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ほか、農林振興課質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で農林振興課の質疑を終わり、留保した答弁については、のちほど準備ができ次第答弁をいただくということにしたいと思います。

次に、国営農地再編推進室より説明願います。

国営農地再編推進室長、川平君。

○国営農地再編推進室長（川平秀明君）　（国営農地再編推進室長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　国営農地再編推進室次長、白山君。

○国営農地再編推進室次長（白山　晋君）　（国営農地再編推進室次長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で国営農地再編推進室の質疑を終わります。

次に、農業委員会より説明願います。

農業委員会事務局長、諸戸君。

○農業委員会事務局長（諸戸康浩君）　（農業委員会事務局長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で農業委員会の質疑を終わります。

ここで、先ほど答弁を留保しておりました農林振興課より改めて答弁をお願いいたします。

農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　大変時間をおかけしまして、大変申しわけございません。

先ほどの鳥獣被害防止対策につきましては、ことし３月の常任委員会の資料にもつけてございましたが、被害面積といたしましては４６．３４ヘクタール、被害額につきましては２，２４３万９，０００円という金額で押さえております。

先ほど言いましたが、今年の被害状況につきましては、いま調査中でありますので、３月の常任委員会でまた報告させていただきたいと思います。

すみません。もう１件訂正でお願いしたいんですけれども、大変申しわけござい

ませんが、先ほどの種馬鈴薯の関係の件数の話でございましたが、６ページの申請状況、補助事業の申請状況というところで、２０件、２５件の話がございました。これにつきましては、先ほど２０件と言いましたが、やはり２５件が正しいということでありまして、その内容につきましては、まず①の種子馬鈴薯の増産というところで、これは新しく始めた方が、新しくというか増産、以前より面積を増やした方が５件おりまして､さらにいままで通常やっていた方が２０件居たということで、やはり対象戸数につきましては２５件が正しいということになりますので。種馬鈴薯を作付している方は２０件おります。ただ、①の種馬鈴薯の増産を、新しく面積を増やした方は５件いらっしゃった、その中で。ですから、２０件と５件が合わさりまして、戸数につきましては２５件ということが正しいので、大変申しわけございません。訂正させてもらいます。

○委員長（山崎　仁君）　内ケ島君。

○６番（内ケ島祐一君）　何かいま説明がちょっとわからないんだけれども、戸数は２０戸で面積を増やした件数が５戸っていうことは、対象戸数は２０戸でいいんじゃないの。違うの。

○委員長（山崎　仁君）　　農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　これは、□□□ひとくくりにしておりますけれども、まず①の事業と②の事業がそれぞれさらに事業の中で細分化されておりまして、①で該当する方が５件いらっしゃると。②の抜き取り検査の関係が２０件いらっしゃると。ですから、事業としては何件かというと２５件という形をとっていたんですけれども。

○委員長（山崎　仁君）　この件に関して、①②っていう内容が違うところを、答えを１カ所で示しているので誤解をしているということですよね。であれば、①の増産は５、それから②については２０という、そういう表記の仕方を改善していただくように､わかりやすく表記していただくようにお願いしたいと思いますけれども、いかがですか。

　農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　大変いまご指摘のとおり紛らわしい表現でありましたので、今後もう少しわかりやすく、いま言われたように件数を入れるだとかして工夫したいと思いますので、大変申しわけありませんでした。

○委員長（山崎　仁君）　内ケ島君。

○６番（内ケ島祐一君）　この件について、差しかえというのはできないんですか。このままで、資料でなくて、これ差しかえということは。詳しくというか、いま言ったように分けて、もう一回配付してもらえればわかりやすいのかなと思ったんだけれども、どうですか。

○委員長（山崎　仁君）　いまのお尋ねなんですけれども、資料の中身がこうだということなので、差しかえが必要なのか、それとも訂正でいいのか。その辺のところはこの委員会終わるまでの間、ちょっと内部で協議してください。差しかえをする

のか、訂正で進めるのか。資料としては、訂正をすればいまの数字の理解はできたわけですよね。ですから、差しかえまでいかずに訂正ということになるのか、そこは十分中で協議してください。

ほかの委員の皆さん、いかがですか。訂正でいいのか、差しかえをしなければならないのか。

（何事か言う声あり）

○委員長（山崎　仁君）　それでは、資料の差しかえをするということですので、ご理解をいただきたいと思います。

この件に関しては、以上で終わりたいと思います。

それでは、次にくらし安心課より説明願います。

くらし安心課長、山田君。

○くらし安心課長（山田　薫君）　（くらし安心課長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　今金消防署次長、小野君。

○今金消防署次長（小野尚孝君）　（今金消防署次長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。

くらし安心課、消防署、それぞれに質疑があればお受けいたします。

岸君。

○８番（岸　徹也君）　１０月に、大雨災害について考えるという、そういったテーマにおいて、さまざまな関係団体が集まって話し合いをされたということも聞いております。

それについて、いろんなご意見が出たと思うんですけれども、そういったご意見の一覧のみたいなものというのは見ることができないのか、提供いただけないのかということをお聞きしたいんですけれども、いかがでしょうか。

○委員長（山崎　仁君）　くらし安心課長、山田君。

○くらし安心課長（山田　薫君）　お答えをいたします。

この会議の主催が社会福祉協議会の主催で、３団体の説明会といいますか、情報交換会ということで実施しておりますので、情報提供できるかできないか含めて、社会福祉協議会の事務局とも相談させていただきたいと思います。

○委員長（山崎　仁君）　ほかありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上でくらし安心課の質疑を終わります。

次に、未来創生推進室より説明願います。

未来創生推進室長、田中君。

○未来創生推進室長（田中　崇君）　（未来創生推進室長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対して、質疑があればお受けいたします。

向井君。

○２番（向井孝一君）　このテーマをもとに、常任委員会の道内視察で鹿追町、厚真町を訪問して、いろんな勉強をしてきましたけれども、そういう中において、私個人が一般質問で出した内容とはちょっとかけ離れているなというような気がするんですけれども。というのは、厚真町においても、胆振東部地震の経験をもとに再生エネルギーの取り組みが本格化してきたいと。厚真町のホームページを確認すると、全国にこの再生エネルギーを扱っている会社というのが、外国の資本も入れると１，０００社以上あるというのが現実だそうです。

そういう中において、当時地震の影響で本町もブラックアウトを経験したわけですよね。その後に畜産関係の農家に対しては補助金を入れながら、発電機を導入してきました。しかしながら、これは暑い時期だからいいんですけれども、冬にそういうことが起きるということは、大変なことになるというふうに想定します。

それでここにおける、例えば１キロワット未満のそういう自家消費に対する取り組みも、私は必要ではないかなというふうに思うんですね。そして、厚真町も工業施設等に地産地消する太陽光パネルをやったり、あるいはガスで省力的な小さい発電機を持ったりというようなことをやっておりましたけれども、それ以外に、お聞きますとやはり個々に対する補助事業も並行して行っているということを言っております。

そして、私も一般質問のときに言いましたけれども、既にもう５４の市町村がそういう取り組みに対して補助事業をやっているというのが現況です。

そういうことを考えたときに、売電目的ではなくて、自家消費の中でそういう緊急時に備える、そういうことに対する事業の流れもこれからは必要じゃないかなと。そのことによって、ゼロカーボンというのは、実際にもう自治体がやっているということに対しては、わからない町民がほとんどだと思うんですよね。

しかしながら、そういうことを一つ一つやっていくことによって、町民の理解も得られるし、町全体が、今金町もゼロカーボンに向かってこういう計画立案をして実行しているんだなということが、理解にさらに進むというふうに思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（山崎　仁君）　　未来創生推進室長、田中君。

○未来創生推進室長（田中　崇君）　ありがとうございます。以前、委員からも一般質問をちょうだいしておりました。今回、エネルギービジョンの素案の策定に向けましては、検討会の委員さんの中でも、決して再生可能エネルギーの導入というものが、大きな規模のものだけではなくて、住民、それぞれのお宅に取りつける太陽光の設置ですとか、こういったものも省エネの取り組み、脱酸素に向けた取り組みとしては必要だろうということでの意見はいただいております。

決して、町といたしましても、大きな事業だけを想定しているものではございませんので、委員がおっしゃられておりました非常時の電源確保という部分でも、再生可能エネルギーの導入というものは、非常に有効的なものだというふうに認識をしておりますので、具体的に、じゃ、どのような形で行政として支援をしていくの

かというようなところは、以前にも説明をさせていただきましたけれども、具体の施策等につきましては、次年度、地球温暖化対策の実行計画というものをいま策定することになりますので、その中でそれぞれ具体の施策については計画として掲げさせていただきながら､実行に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（山崎　仁君）　ほかありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で未来創生推進室の質疑を終わります。

１０時２０分まで、休憩といたします。

休憩　午前１０時０５分
再開　午前１０時２０分

○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り、開議いたします。

次に、公営施設課より説明願います。

公営施設課長、由浅君。

○公営施設課長（由浅和正君）　（公営施設課長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　公営施設課長補佐、古谷君。

○公営施設課長補佐（古谷哲男君）　（公営施設課長補佐朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で公営施設課の質疑を終わります。

次に、教育委員会より説明願います。

始めに、教育長からお願いをいたします。

教育長、中山君。

○教育長（中山秀悦君）　教育関係について、３点ご報告を申し上げます。

１点目、教育委員会所管の諸事業についてですが、第５３回今金町総合文化祭が１０月末、２週にわたって、芸能発表、展示発表で開催されました。芸能まつりが、参加１５団体、関係者・観客合わせて６００名余り、展示発表では、文化協会表彰式、小中学生絵画書道展表彰式も開催、総合体育館あいきゅーぶを会場に、個人、団体合わせて２６ブース、２日間で８００名余りにご来場いただきました。

翌週６日、日曜日は、今金っ子わくわくフェスティバル、いまかねエッセイコンテスト、としょぽ表彰式が総合体育館あいきゅーぶで開催されました。

エッセイコンテストでは、小中学生から一般の方まで３２０作品の中から、６部門に分けて表彰を行い、今年は最優秀作品を作者自ら朗読するなど、心のこもった発表となりました。表彰されました作品は、作品集を作成し、最優秀作品は影像とハープの演奏を合わせたＤＶＤを作成し、町民センター図書室にて閲覧できるよう

準備を進めております。多くの町民の皆様にご覧いただければと思っております。
また、わくわくフェスティバルでは、各団体の協力によるさまざまな体験イベント等が行われ、武道場で開催したダンボール迷路には、たくさんの子どもたちがチャレンジしており、イベントにあわせた本の展示等も行い、多くの方々にご来場いただきました。
翌７日には、今金町ＰＴＡ連合会研究大会、今金町スポーツ講演会が今金小学校を会場に行われました。函館出身の２０２０年東京パラリンピック銅メダリスト、車いすラグビー日本代表、池崎大輔さんを講師に、人生は挑戦者と題し、世界で戦うアスリートとして感じる障がい者スポーツについてお話をいただきました。
２点目、今金町文化財保存活用関係についてでございます。
役場庁舎に、北海道遺産に決定、今金美利河の金山遺跡の表示をしていただきました。美利河地区の砂金採掘跡と、その山奥にあるカニカン岳金山跡が、１０月１３日に北海道遺産協議会第４回選定で北海道遺産に選定されました。
また、７月２２日には、美利河の金山遺跡を含む今金町の歴史文化資源が、文化庁より文化財保存活用地域計画として認定されました。全国の認定自治体数、合計が７８、今金町は北海道としては札幌市に次いで２番目の認定となりました。
先週１１月２３日に、札幌市で鈴木知事も同席される中、北海道遺産協議会石森会長より中島副町長に第７１号の選定書が授与されました。今後もこれを糧に、文化庁、文化財保存活用地域計画を推進し、学術のみならず、観光産業にも結びつける取り組みを模索をしてまいります。
３点目、各教育機関の状況ですが、こちらも事業等については、感染防止対策を踏まえながら、でき得る限りの通常の学習環境、活動で進めてきております。学習発表会、文化祭、修学旅行等諸行事も終えております。コロナ対応の経験を経て、新たな日常となった部分もございますが、１人１台のタブレット等ＩＣＴも活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、明るく学校生活を送っております。町教委としましても、コロナの感染状況を把握しながら、学校全体に広がらないよう適宜対応をとっているところです。
こども園関係では、年齢的にワクチン未接種の状況もあり、コロナ感染が多くなった時期もございましたが、教育委員会、役場対策本部と連携する中で、ほぼ閉園することなく運営されております。
小規模特認校である種川小学校では、現在１６名の児童が当該制度を活用しておりますが、令和５年度の新入学児童の受け入れに向け、地域と学校が協力し、同校の特徴や魅力、特認校制度のＰＲを行っており、学校見学や申し込みを受けているところです。
最後に、今年度の全国学力学習状況調査の結果については、町内小学校が、国語、算数、理科、全教科で全国平均以上、中学校は、国語は全国平均並みとなっております。体力・運動能力、運動習慣等調査結果については、このあと間もなくとなります。

以上、３点ご報告をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。
○委員長（山崎　仁君）　次に、教育委員会事務局より説明願います。
教育委員会事務局長、住吉君。
○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　（教育委員会事務局長朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　教育委員会事務局次長、早坂君。
○教育委員会事務局次長（早坂　靖君）　（教育委員会事務局次長朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。
ただいまの説明に対し、質疑があればお受けいたします。
（「なし」の声あり）
○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で教育委員会の質疑を終わります。
産業グループ全体を通して、委員の皆さんから何かございませんか。
（「なし」の声あり）
○委員長（山崎　仁君）　なければ、以上で産業グループの説明を終わります。
次に、（２）その他を議題といたします。
委員の皆さんから何かありませんか。
（「なし」の声あり）
○委員長（山崎　仁君）　なければ、理事者から何かありますか。
（「なし」の声あり）
○委員長（山崎　仁君）　それでは、（２）その他を終わります。
以上で、各課説明事項についてを終わります。
理事者の皆様には、ご出席ありがとうございました。
退席をお願いいたします。

◎委員会調査報告（案）について）
○委員長（山崎　仁君）　次に、委員会調査報告（案）についてを議題といたします。
内容については、局長に説明いたさせます。
議会事務局長、伊藤君。
○議会事務局長（伊藤靖徳君）　（委員会調査報告（案）朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　調査報告（案）の説明であります。
この件に関して、何かあればお伺いをしたいます。
今後の日程でありますが、１２月定例会において議長に報告をするという流れになります。ご意見が、あればお伺いをいたします。
このとおりでよろしいですか。
（「異議なし」の声あり）
○委員長（山崎　仁君）　それでは、今後もし字句等の修正等があれば、正副委員長、事務局にお任せをいただきたいと思いますのと、それから、議運の時点では成案として提案をしたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎その他

○委員長（山崎　仁君）　それでは、委員会調査報告を終わり、次にその他であります。

その他で、皆さんにご意見を伺いたいなと思います。

道外、道内行政視察、１０月、１１月、それぞれ行いました。この２つの視察で感じた意見等があれば、意見を出していただきたいと思います。いかがですか。

この調査報告については、３月定例会に報告をするということを想定しております。皆さんからのご意見をいただきながらまとめたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います。いかがですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　ご意見がないようですが、この件に関して、正副委員長、事務局で取りまとめをするということでよろしいですか。

もし、３月までの間まだ時間が若干ありますから、お気づきのことがあれば事務局にお伝えをいただきたいと思います。

そういう流れでよろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　それでは、そのように取り進めを行いたいと思います。

その他、皆さんから何かありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎　仁君）　なければ、その他を終わります。

閉会に進んでよろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

◎閉会の宣告

○委員長（山崎　仁君）　それでは、本日予定をしていた案件がすべて終了いたしました。

これにて、総務産業常任委員会、産業グループの説明を終わります。

ご協力ありがとうございました。

閉会　午前１１時１３分